



日本物理学会 第13回Jr.セッション 優秀賞・2テーマ受賞(4年連続入賞)!!

平成29年3月18日(土)、日本物理学会第13回Jr.セッションが大阪大学豊中キャンパスで開催され、2テーマで優秀賞を受賞し、4年連続入賞を達成しました。

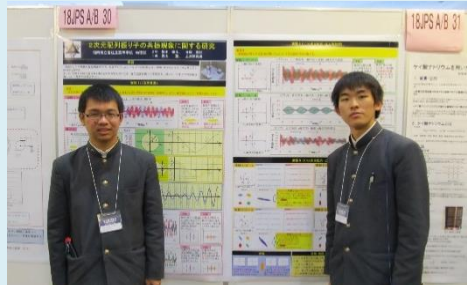
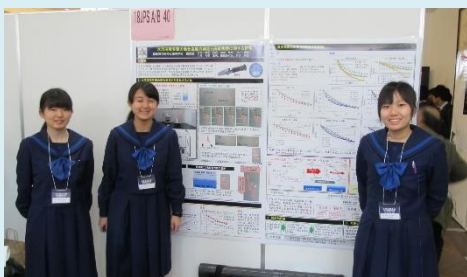
優秀賞 受賞テーマ

**風力発電機の性能向上に関する研究-ディンプル付き風レンズの開発-
 水溶液境界面の混合速度の測定と溶質物性に関する研究**

Jr.セッションは、日本物理学会の年次総会に合わせて毎年3月に開催されている中・高校生のための発表会です。今年は142件の応募から、Jr.セッション委員会において第1次・第2次審査の結果、本校の3件を含む100件が採択され、研究成果を発表しました。

毎年、研究内容・ポスタープレゼンテーションの高度化が進んでおり、高評価を得るためには、研究課題に対する真摯な取組みを継続して行うことが必要です。

発表会終了後には、「現代物理学への招待-量子力学の発見とその応用」について小林研介先生(大阪大学 大学院理学研究科物理学専攻)の高校生向け講演が開催され、物理学の発展について理解を深めることができました。



日本物理学会 第13回Jr.セッション

2017年3月18日
 大阪大学豊中キャンパス大阪大会館



数理コミュニケーションコース・2年 Science Presentation 2017

平成29年2月21日(火)、数理コミュニケーションコース・2年生による課題研究英語発表会を実施しました。

この発表会は、探究教科「SS科学探究」で行っている課題研究の内容を英語で発表するもので、14テーマのポスター発表を行いました。これまで、研究発表会に参加してきた生徒も、英語発表の準備では、研究内容を知らない人に向けてわかりやすく伝えることができるように、ポスターや英語の表現方法を工夫しました。

英語プレゼンテーションの経験は将来に向けての貴重な機会となり、県外から視察のために来校された先生方からも高い評価を得ることができました。

Science Presentation 2017 3rd and 4th period, 21st February in Communication Room

Field	Theme
Mathematics	Mathematical model of congestion relief method -the road to efficient access-
	Research of antibacterial action
Biology	Research on axolotl Ambystoma mexicanum physical characteristics
	Euglena Resistance to UV Rays
	Study On Chaff Oil Adsorption ~For improvement of water quality~
Chemistry	Measuring speed of various ions
	Acid Rain Resistant Bronze
	Freezing point drop of high concentrated solution -in alcohols solution-
	Detergency Comparison
	Mixture speed of Interfaces of Water Solutions with Different Concentrations
	- Measurement by Refractive Index Difference-
Physics	Research on the Resonance of Pendulums Arranged in Two Dimensions
	Improving Wind Turbine Generator
	Converting Vibration into Rotation
	Size of circles created by boomerangs with different weight distributions

